# 富山県SDGs宣言

株式会社　K-DIC＜ケィ・ディック＞　はＳＤＧｓの達成のため、
以下について取り組むことを宣言します。

戦後、高度成長期を経て多くの家電製品が普及し便利で快適な生活が送れるようになった。一方で昭和の時代では、1家庭15A契約で生活出来た暮らしから現在では1人暮らワンルームマンションでさえ60A必要となる時代になりました。高度成長に後押しされ家電製品の拡販を行った我々まちのでんきやの環境保全責任も問われる昨今であります。一方で省エネ、創エネ、蓄エネを担うことが出来るのもまちのでんきやであります。子供たちに残す未来は緑豊かな世界であるように...
当社が経済活動の中で出来る環境保全を精一杯取り組んでいきたいと思います。
また、当社の商圏である中心市街地は少子高齢化がどんどん進み、一人暮らしの高齢者宅や要介護の老々介護世帯が多く存在する。また昨今、片親世帯の増加や貧困世帯、DV被害も増えてきている。様々な地域課題に対し、当社が目指す経営理念「持続可能な一つの家族のような地域」を目指して全事業を通して取り組んでいきます。

| No. | 取組目標及び主な取組み | SDGsゴール |
|---|---|---|
| 1 | 【目標】<br>カーボンニュートラルな経済活動を行う。＜自社の消費電力を10%削減＞<br><br>【主な取組み】<br>カーボンニュートラル商品を積極的に取り入れる。<br>・照明器具をLED変更。<br>・自家消費型太陽光発電の設置<br>・蓄電池設置によるピークシフトへの取組<br>・EV車を導入<br>・V2H（EV車の充放電設備）設置によりCO2の排出量を減らし、災害時のBCP対応 | |
| 2 | 【目標】<br>地域に対してカーボンニュートラル商品を拡販する<br>省エネ効率の高いエアコン（経産省省エネラベル★４つ相当）の販売占率を70%以上を目指す<br><br>【主な取組み】<br>価格志向の時代の中においても社会全体の環境保全意識の向上を目指し、質の高い社内勉強会を実施し、確かな知識と環境配慮意識に裏付された商品提案が出来るスタッフを育成する。 | |
| 3 | 【目標】<br>社会的弱者が「安心できる居場所」と「必要とされ輝いて働ける職場」を創る。<br><br>【主な取組み】<br>パン製造販売の新規事業を行うことで、今までの対面接客だけでは叶わなかった社会的弱者（発達障害、軽度知的障害、DV被害者等）の雇用を推進する。<br>当社が「職親」としての役割を担う。 | |

2021年 10月 7日
企業・団体名 株式会社　K-DIC＜ケィ・ディック＞
代表者名 代表取締役社長　黒田　保光